■沿革

・明治初期　丸田郷の人たちにより開かれた

・大正3年

長崎医科大の教授らにより泉質が調べられ、

放射性物質（ラジウム）を含むことが確認された

・昭和初期　三菱長崎造船所の温泉保養所

・戦後　　温泉旅館として営業

■沿革

・昭和48年　老人憩いの家として開所

・昭和58年　現在の働く婦人の家の一階に併設

（浴場は老人憩いの家をそのまま利用していた）

・平成13年

現在の老人福祉センター「丸田荘」供用開始

■竣工・供用開始

竣工　　平成13年3月末

供用開始　平成13年4月から

■所在地

長与町丸田郷157番地2（働く婦人の家の隣）

■公共交通機関

「皆前橋」バス停留所から、徒歩10分ほど

■開館時間

午前9時から午後6時まで（浴場は正午から）

■休館日

毎週　火・金曜日、お盆、年末年始

■使用者の範囲

原則として、高齢者・障害者

（大人・こどもも利用できます）

■施設内の構造

一階　福祉事業用

二階　浴場・教養娯楽室

■使用料

項目	高齢者・障害者	中学生以上	小学生以下	町民以外
施設使用料	100円／回	200円／回	100円／回	300円／回
回数券（11回分）	1,000円／冊	2,000円／冊	1,000円／冊	3,000円／冊

■丸田荘の課題

・**利用者数の減少**と**利用者の偏り**

・経常的な**赤字**

・設備の**更新時期**が到来している

■調査の実施（令和7年9月から同年10月末まで）

丸田荘（浴場）の今後の方向性を検討するため、

アンケート調査（利用者向け・町民向け）を実施

■アンケート調査結果（利用者向け）

・回答者数　**151名**

※町全体の高齢者数のうち、約1.0%

・回答者のうち、60歳以上の高齢者は、87.4%

・利用頻度が**「週に3日」**以上の回答者は、47.0%

・丸田荘を利用する理由や動機は、

「使用料（料金）が安いため」が最も多い

■アンケート調査結果（町民向け）

・回答者数　**396名**

・回答者のうち、60歳以上の高齢者は、64.4%

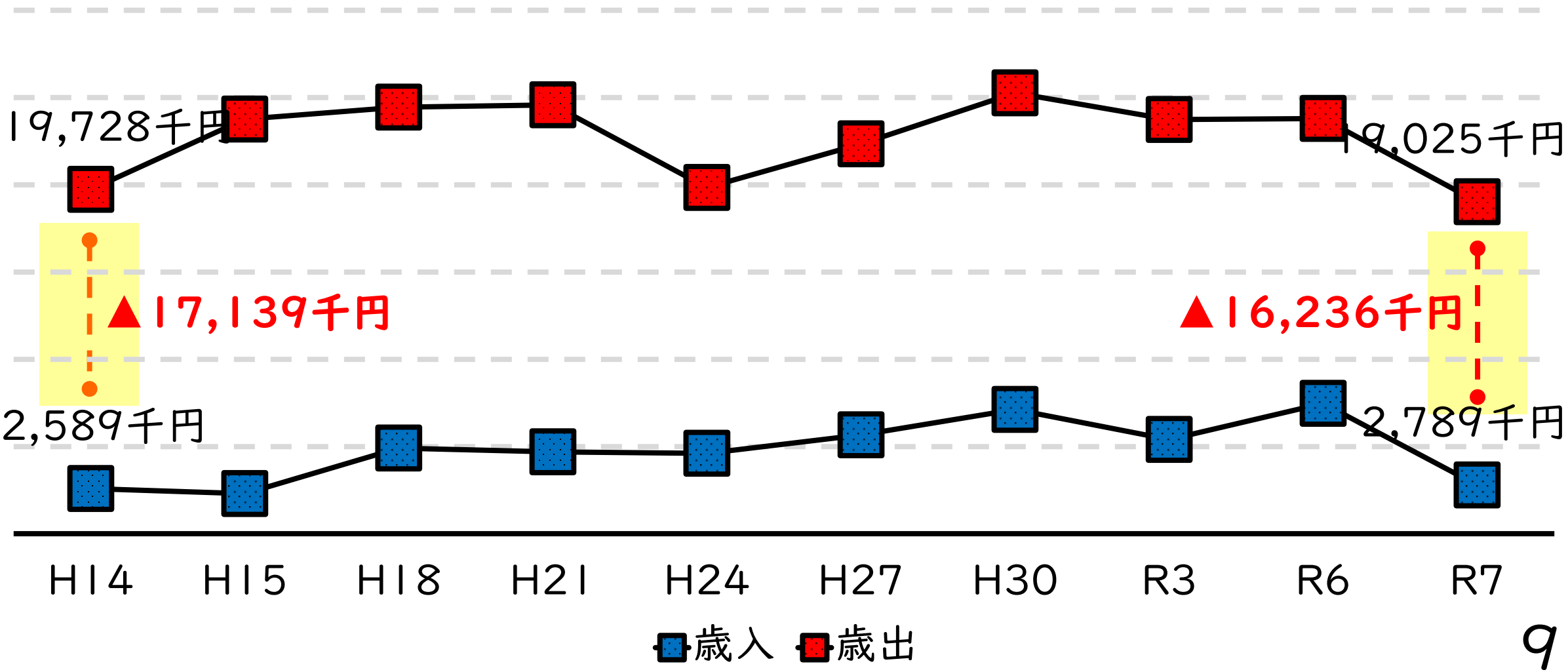
・丸田荘を**「知っていた」**77.3%

・そのうち**「利用したことがない」**88.9%

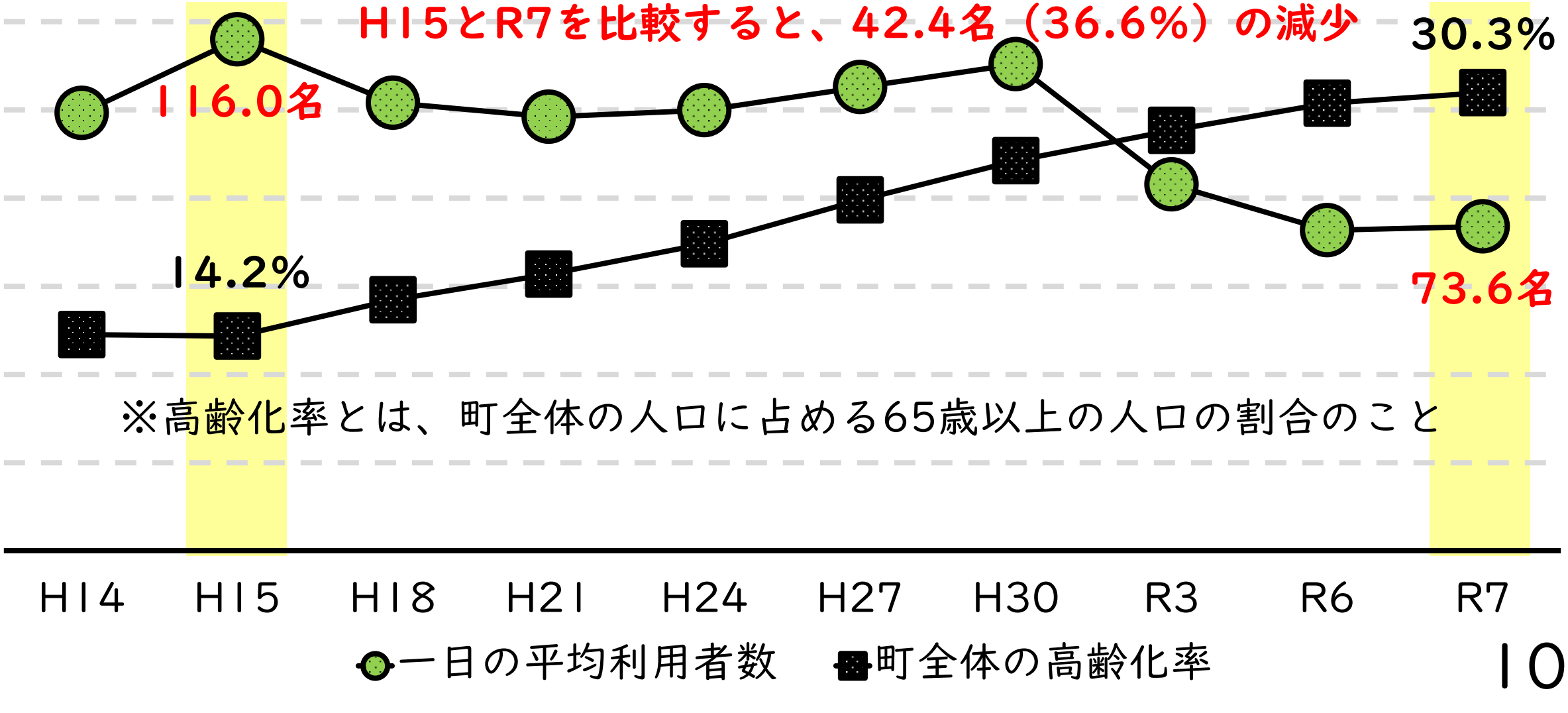
・丸田荘を知っているのに利用しない理由は、

「自宅で入浴するので行く必要がない」が最も多い

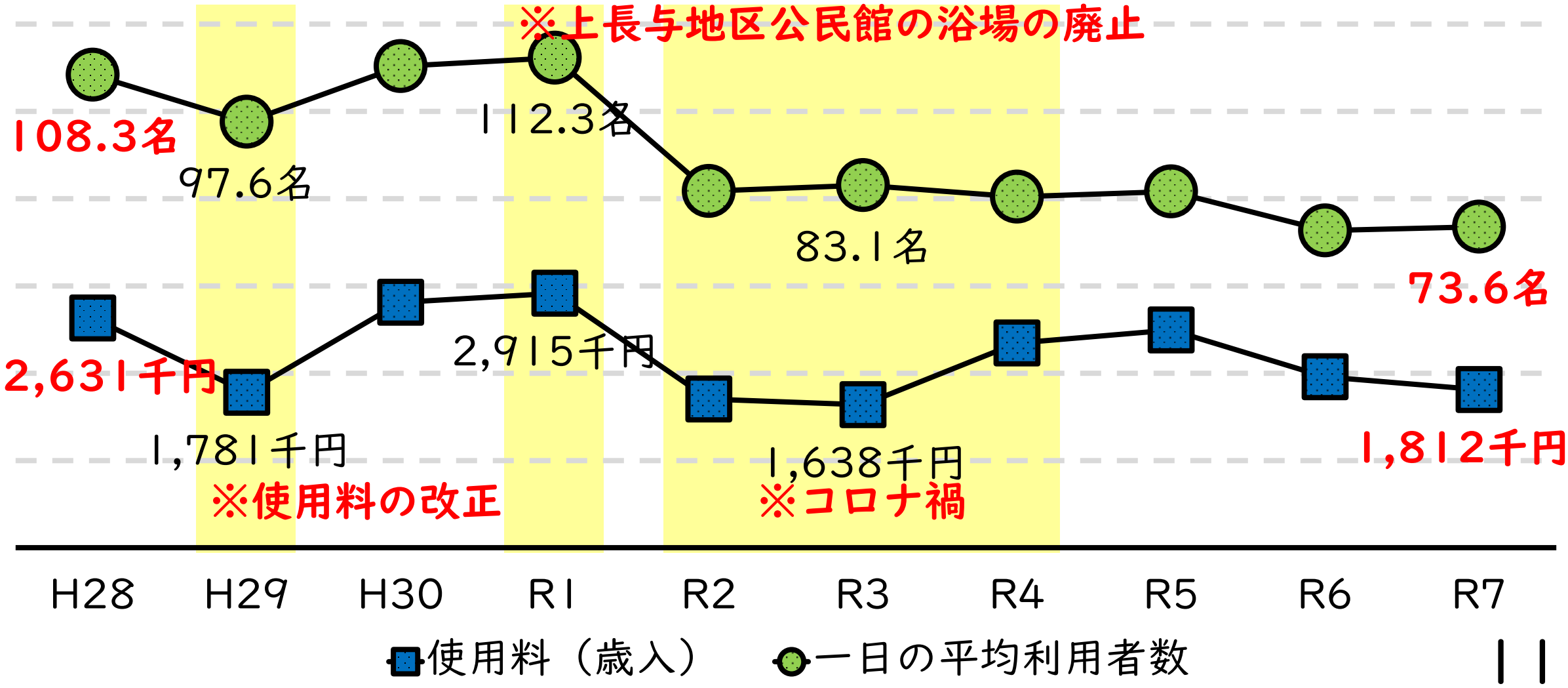
■歳入・歳出の推移


19,728千円
19,025千円
▲17,139千円
▲16,236千円
2,589千円
2,789千円
H14
H15
H18
H21
H24
H27
H30
R3
R6
R7
歳入
歳出

■一日の平均利用者数と高齢化率の推移



■使用料の改正などの影響



■更新時期が到来している設備の工事・修繕

・エレベータ改修　約13,000千円

　耐用年数（20年）**※既に到来している**

・ボイラ改修　　約10,000千円

　耐用年数（10年）**※既に到来している**

・エアコン取替（1台）　約800千円

・膨張タンク取替、排煙窓取替　約700千円

■これまでの説明のまとめ

・長与町の高齢化率は増加しているのに、

　丸田荘の利用者数は**減少傾向**であること

・**実利用者数**が少なく、**偏っている**こと

・アンケート調査結果で、丸田荘を知っているが、

　「利用したことがない」回答者の割合が高いこと

・設備の工事・修繕で**多額の改修費用**を要すること

■町の方針

丸田荘の浴場施設は、**令和9年3月末**で廃止し、

他の高齢者福祉施策を拡大する方向性で検討を行う

■説明会の実施

・令和7年12月2日　**全員協議会**で議会に説明

・令和8年2月14日、16日　**住民説明会**を開催

参加者数　**50名**（そのうち利用者は45名）

■住民説明会の参加者からの主な意見・要望

・拡大案として、具体的な内容の提示がない

・使用料（料金）を**増額**しても良いと思う

・利用者数の減少は、**周知不足**が原因だ

・丸田荘は**見守り**や**交流の場**としても機能している

・自宅に風呂があるため、**利用しようと思わない**

・これからも**利用者数が増加することはないだろう**

■当日に配布したアンケート用紙のまとめ

（1）どのような高齢者福祉施策の拡大を望みますか

・浴場施設

・民間の温泉施設を利用する際の費用の一部を助成

・高齢者が楽しめるような施設

（映画やカラオケ、喫茶など）

・介護予防のためのサービスなど

■当日に配布したアンケート用紙のまとめ

（2）廃止した場合の建物自体の今後の活用方法

・高齢者の居場所や多世代交流の拠点

・高齢者をはじめ、多くの方が利用できる憩いの場

・サロン活動、研修施設

・こども向けの全天候型の遊び場

・浴場施設以外では、利用者は増えないだろう

■当日に配布したアンケート用紙のまとめ

（3）廃止に**賛成**する旨の意見

・特定の場所に集まる形ではなく、

より多くの高齢者に届くような事業を行うべき

・丸田荘は交通アクセスが悪く、利用しづらい

・コミュニティとは**人が集まる場所**のことなので、

丸田荘は、コミュニティとして成立していない

■当日に配布したアンケート用紙のまとめ

（4）廃止に**反対**する旨の意見

・浴場は高齢者にとって、**楽しみ**であり、

交流の場であり、**健康増進**に寄与している

・使用料を**増額**してでも、浴場を存続してほしい

・利用者自身で清掃などを行い、

人件費を削減させるなどの改善案を考えるべき

■住民説明会以降

・**周知**　広報ながよ（令和8年4月号・7月号）

・町内の**温泉事業者**と協議

・県の**事業承継・引継ぎ支援センター**と協議

・令和8年8月18日

「丸田荘の今後を考える会」が町に**要望書**を提出

■一日の平均利用者数の推移（前年同月との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月
令和7年	81.1名	75.6名	69.5名	60.3名	58.8名
令和8年	85.5名	76.2名	72.4名	65.4名	61.6名
前年同月比	＋4.4名	＋0.6名	＋2.9名	＋5.1名	＋2.8名

■高齢者交通費・健康づくり助成事業（現行）

対象者　**70歳以上の者**　助成額　**2,500円**

バス利用券、タクシー利用券、健康づくり助成券

■事業実績（令和7年度）

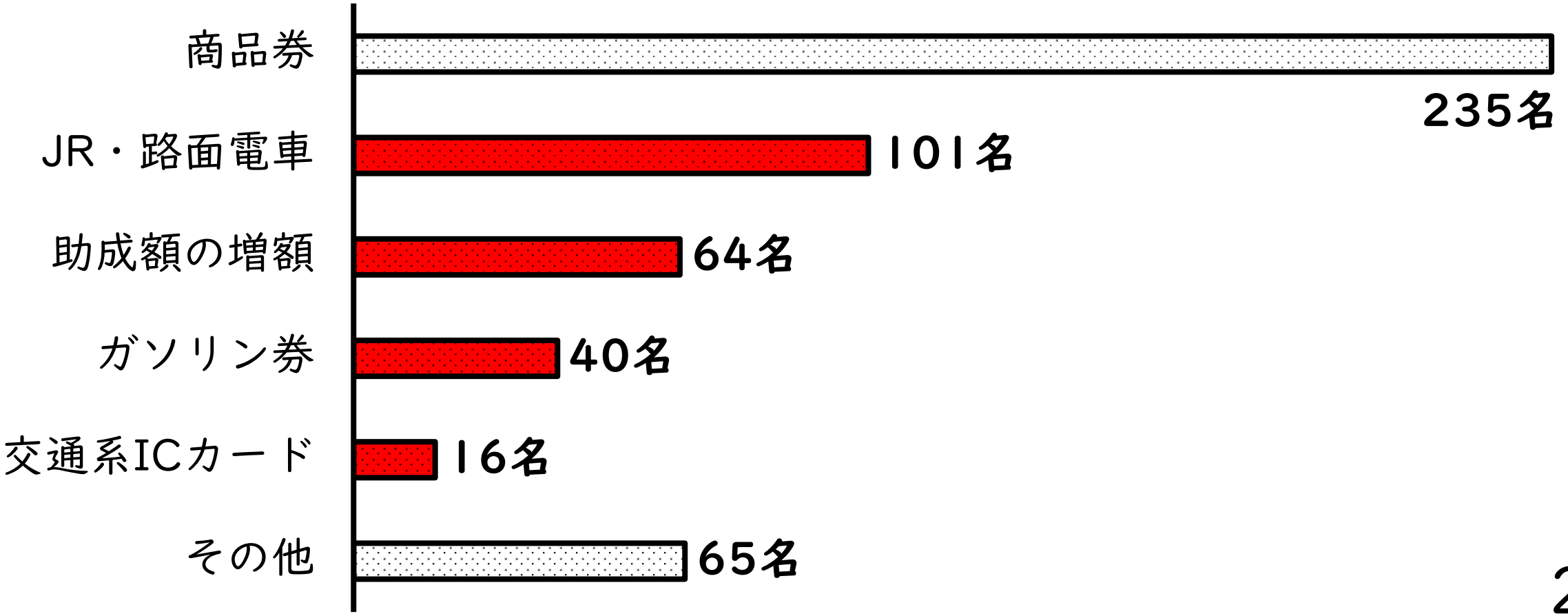
対象者数　9,655名

交付者数　8,343名　　交付率　86.4%

支出額　16,703千円　　利用率　80.1%

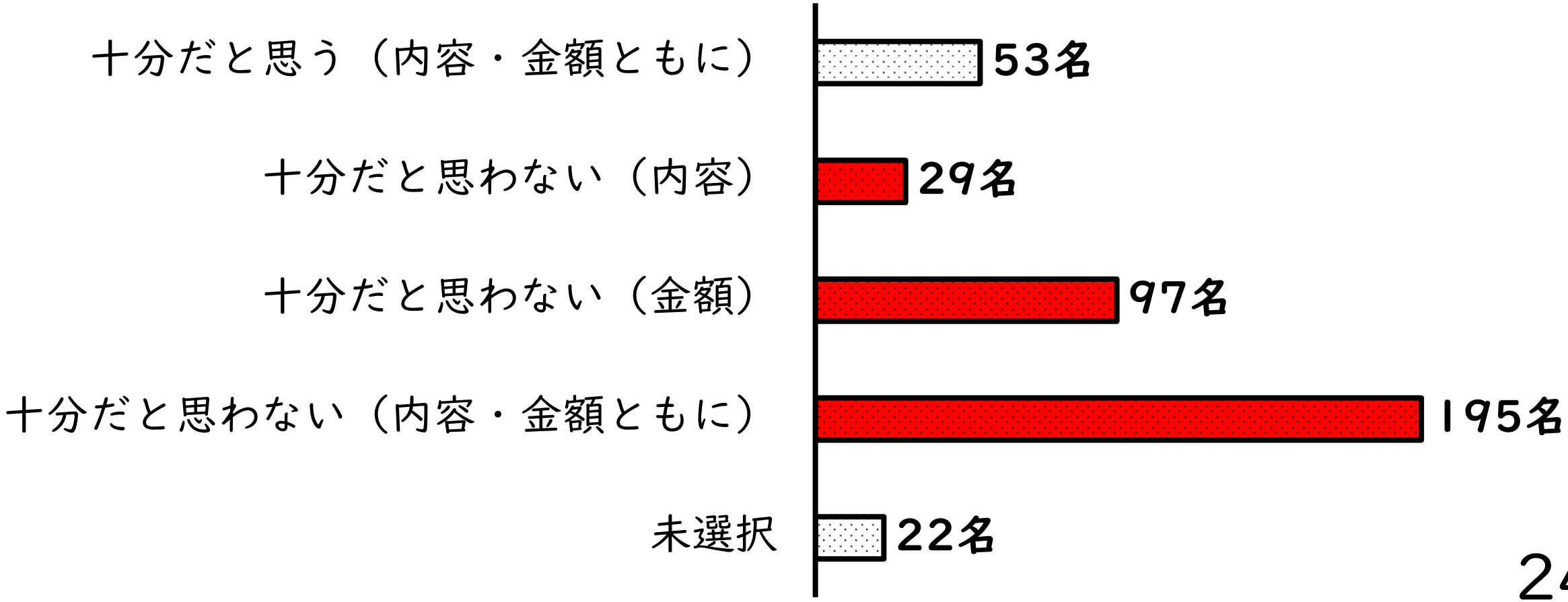
■引換券ハガキのアンケート調査（令和6年度）

「現行の利用券の他に、追加してほしいものはありますか」



■アンケート調査結果（町民向け）

「高齢者交通費・健康づくり助成事業」について



■高齢者交通費・健康づくり助成事業の拡大（案）

・助成額を**増額**

・JRや路面電車でも利用ができる

「交通系ICカード」を導入し、選択肢に追加

・健康づくり助成券に**「町内の理美容店」**を追加

・町内で利用ができる**「ガソリン利用券」**を追加